

➤ 教育環境に関する意見交換会での意見

・再編に賛成する人の意見

5 部活動について【教育環境に関する意見交換会結果報告書 P9～10】
子どもが野球をしているが、部活でやりたい部に入れないのは可哀想と思う。陽明の子たちは軟式野球部の人数が足りないため、硬式野球をやるしかない。
クラブ活動の掛け持ちはできないのか。いい意味で世界が広がるのでは。
陽明でさえ、野球部やサッカー部の人数が揃わなくなっており、ソフトも昨年廃部になった。部活が昔に比べてどんどん減っていて寂しさがある。有終西では各学年が1クラスで6年間一緒にいいこともあるが、トラブルがあった時にクラス替えができない。複式が悪いとは思わないが、もう少し大きい規模の方がいいと思う。
部活をするためではなく、教育を受けるためにやるんだという考えが必要。通学に時間差ができ、結局、部活が出来ないこともある。和泉は通学に時間がかかり、部活ができなくなり、部活をするために住所を移さないといけない、そのようにつながっていくこともある。今の生活で教育をきちんと受けられる環境を行政は整備していかないといけない。平等に教育を受けられることに主眼を置いてほしい。西校にも子どもがいるが、1クラス20人ぐらいが、子どもも先生に見てもらっているという安心感がある。再編に反対ではない。現状に合わせて考えて変えていかなければならない。
教育の中で部活動がすべてではないと思う。中学校1校になると競争相手がなくなると言っていたが、県内に競争相手があるので、競う相手がなくなる訳ではないと思う。なるべく早く、再編して、修繕経費などの管理経費を他の教育に充ててほしい。
上庄、尚徳は陽明や開成の子と比較すると、おっとりしている。小規模校のため、大人の目が届きやすいなどのメリットがあるが、競争心がないとか、居心地が悪い子にはつらいと思う。小学校でクラブをやっている、中学校でその部活がないから、競技を断念するか、競技を続けるために福井などの学校へ行く子もいる。中学校1校となった時、行き場がない子は変わらない。2校ぐらいに分けるのが理想だと思う。
上庄に小学校を残してほしい。中学校は、ソフトボール部の人数が少なく他の部から借りてくることも考えている。
小学校は地元に残してほしい。地域と密着した活動が多い。子どもが小さいうちは、地域で育てるという考えは素晴らしいと思っている。中学校は、野球部がギリギリで成り立たない状況であり、合併を進めてほしい。市内で校風の違う学校が切磋琢磨して、意見を共有し合えるといいと思う。
中学校と小学校では、根本的に問題が違うと感じる。中学校が直面しているのは部活の問題。一緒に議論しているが、抱えている問題が違うので中学校を先行して考えるなどをしないと、先に進まないと思う。
小学校は地域に残してほしい。自分の生活の一端をとられるような気がしている。再編計画が出たとき、子どもが上庄小学校がなくなることに対して寂しそうにしていた。中学校は部活の問題が一番であるが、選択肢が増えることでストレスになるのではないかと思っている。部活だけを市全体でつくるのがいいのではと思っている。複式のある学校の再編は、その地域で進めていただき、上庄は別で考えてほしい。
今は早く統合してくれた方が良く感じている。現状の尚徳は、授業がうまくいかなかったり、いじめがあったりする。小さい学校でいじめがあった時、逃げ場がなくなると感じている。尚徳から大きい学校へ移った人から、メリットやデメリットはあるが、対応をしっかりしてくれていて、移って良かったと聞いている。部活では、小学校のときにやっていた競技がないため、入る部活がない。子どもの楽しみがない。陽明や開成の部活に行ける環境をつくってほしい。
早く再編の方向性を決めた方が良い。中学校における部活動は大切で、たくさん部活があった方が良い。いろいろな絆が生まれる。中学校2校ぐらいにして、競い合った方が良い。働き方改革で部活の練習が減り、自主練習が行われている。
今、スポーツなどで、やりたい子がやれない、選べない状況で、小学校でスポ少などの団体競技をしていても、中学校で個人競技に変わる子どもがいる。
大野を出た時に、大野出身であるという誇りを持てる教育をしてほしい。そうすれば県外に出た時に自信を持てると思う。いずれ、大野が好きで戻ってくる。バス通学は部活動の時間などが制限されるためハンディである。部活の練習をしたくても切り上げないといけなかった。ハンディをなくす方法を検討してほしい。
部活については、市が教育の一環として割り切るのであれば、中学校対抗にする必要があるのかと思う。競い合いたいのであれば、クラブチームに任せるなど、部活をどう捉えるかを示した方がいい。
考える力をつける環境が必要と考える。また、いろいろな体験ができることが必要。上庄は登下校で自然の四季を感じることができる。中学校は2から3校にして、出来る限り村部に配置してもらった方がいいと思う。部活は市全体で作って、練習場所へはスクールバスで送迎する方がいいと思う。
富田小や尚徳中では、子どもの顔を見たら保護者の顔が浮かび、先生も学校に行くと子どもの状況を教えてくれる。大きい学校でもこのような環境が保たれるのか心配である。再編すると校区が広がり、保護者の顔が分からないため、保護者から子どもの情報を聞けない心配がある。中学校では部活を選べないので可哀想である。市全体で部活が選べるよ

うな形を考えて欲しい。他の学校の子どもと交わる機会にもなる。
部活が出来ないから再編するのではなく、勉強面で支障が出るから再編する方向で考え、部活動は部活動で考えないといけない。
中学校だけの再編で良いと思う。小学校は各地区にあった方が良い。中学校は部活のことを考えると人数は多い方が良く、2校ぐらいが良いと思っている。
上庄は、保育園、小学校、中学校と一緒に良い所も悪い所もある。部活が寂しいということで中学校の再編は良いかなと思う。小学校は子どもが減って寂しいと思うが、市が別の面で頑張ってもらい、若い人が戻って来られる大野になって欲しい。自分の子どもに対して、仕事がない大野に「帰っておいで」と胸を張って言えない。
中学校は部活が少ないから再編をしていくことは分かる。
大きい学校になれば、友だちが多くでき、部活動も選べ、団体競技も出来て、自分のやりたいことが広がる。そういうことは子どもにとって大切なことだと思う。
中学生であれば市街へ通える年齢でもあるので、再編により、部活動の選択も友だち関係も広がると思うし、将来の進路や夢が広がるのではないかと思った。
学校は最低1学年2クラスは必要と思っている。年頃になると気の合わない友だちが出来たりするので、クラス替えが出来ることが必要と思う。音楽、美術、技術、家庭などの教科に専任の教職員が配置できるような人数の規模にして欲しい。部活動に関して子どもが自分たちのやりたいことを見つけられる規模にして欲しい。再編計画を進める中で「地区の核がなくなる」、「母校がなくなるから再編は嫌だ」などの反対意見が出ていたが、第一に考えて欲しいのは子どものことである。このことをこれまで以上に強く言って欲しい。再編はもっとスピード感を持ってやって欲しい。みんなが自分の子どもは関係ないと言っていたのでは、これからの小中学生のためにならないので、早めにやった方が良い。
中学校の部活が少なく、やりたい部活がない生徒が多いと思う。中学校が2校に再編された場合、2校で1つの部活を作るなどの検討もして欲しい。
本心では、子どもが1人でもいる限り学校を続けて欲しい。しかし、子どものためを思うとそういう訳にはいかない。子どもが少ないと、しっかり先生から勉強を教えてもらえると思うが、スポーツは出来ないと思うので悩ましい所である。
子どものことを考えれば、もう少し多い方が良い。中学校では大人数の方が部活出来る。
平日の部活は保護者が迎えにいけるが、土日の部活については、仕事がある保護者もいるのでスクールバスの送迎などをお願いしたい。
再編は早くして欲しい。中学校が1校になっても、市外に出れば他校と練習試合などが出来る。現在、校外の部活に所属している生徒もいるが、自分は校内の部活をするべきと思っている。
小学校時代に続けてきたクラブ(スポーツ)が中学校にないので困っていると聞いている。子どものやりたい部活が出来るようにしてやりたい。また、保育園の時に同級生にいじめられていて、小学校、中学校は1クラスでクラス替えがなく、ようやく高校で離れることが出来たという話もある。
部活動では野球、ソフトボール、バレーボール、水泳など学校の先生では教えられるレベルは限られてしまっているので、部活動の時間帯は親に責任を持ってやらせ、先生は部活動をしないで授業、放課後などだけを見てもらうだけで良い。
部活を通じて校外の子どもなどいろいろな人と触れ合うのは大きいことであり、他校と競い合うのも必要なことではあるが、部活動を学校単位で行わなくても良いと思う。

## ・再編に反対する人の意見

<b>5 部活動について【教育環境に関する意見交換会結果報告書 P17～18】</b>
有終西は、子どもの数が多くも少なくもなく、ちょうど良い。中学校を考えると、再編計画は1校で600人で、多すぎると思った。部活ありきではない。その競技を継続したいのであれば部活でなくても良い。その中学校の人数で出来る部活をやれば良い。違う競技をやりたいのであれば、市外や県外に出ることも可能である。
部活などの問題がなければ、少人数の方が良いと思う。
小規模校ほど地域の人が学校を大事にする。学校がなくなると地域の人が集える場所がなくなる。小規模校だから教育ができない訳ではない。ITを使えば、お互いに意見を言い合える。中学校で好きな部活が出来ないというが、これは子どもが部活をしている保護者が言うことである。働き方改革と言われ、教職員が土日を使ってまで部活をする時代ではない。中学校を1つにするのではなく、大野市で指導者を雇って、スポーツ少年団のようにやれば良い。子どもの要望に合わせられる。
部活を学校単位で行わず、学校のエリアごとに行えば良い。